



のおがた

直方城

(直方市)

福北ゆたか線・直方駅

～黒田官兵衛ゆかりの殿様の城～

◇東蓮寺藩(直方藩)の成立と城下町の整備

明治期、筑豊炭田で算出される石炭を輸送するべく、整備されたことに端を発するJR福北ゆたか線。石炭産業が衰退した現在も、北九州と福岡を結ぶ鉄道路として利用されています。直方駅は、この福北ゆたか線の中核駅の一つです。

皆様は、この直方が東蓮寺藩(のちの直方藩)という小さな藩の城下町であったことをご存じでしょうか。東蓮寺藩は、元和9年(1623)に成立した福岡藩の支藩です。福岡の支藩といえば秋月藩が有名です。しかしこの東蓮寺藩、のちの直方藩も、福岡藩にとってなかなか興味深い役割を果たした藩だったのです。

戦国時代の直方市西部には、豊前との境界を守るための山城として、あの鷹取城が置かれていました。元和9年、黒田長政は息子隆正にこの地を治めるように言い残して死去しましたが、鷹取城は、慶長20年(1615)にすでに廃城していました。そこで福岡藩の重臣らは、平地で交通の便の良い現在の直方駅の南西一体を城下として新たに整備することにしました。彼らは、殿町に陣屋を中心とする武家地(殿町)を設け、その北側に110家の町屋・商家からなる町人地(古町)を配置しました。現在の直方の町場の原型は、ここで成立したのです。

延宝3年(1675年)になると、三代藩主となった黒田長寛が藩の名を直方と改称します。これは有名な儒学者で、『黒田家譜』を編纂した貝原益軒の兄である元端が命名したといわれています。しかしながら、長寛は福岡藩3代藩主・光之の養子になったため、直方藩も改称後まもなく廃藩してしまいます。

長寛は、福岡藩4代藩主綱政となった後、元禄元年(1688)、弟の長清に5万石を分与し、再度直方藩を立藩します。1万石の加増を受けた長清は、これまでの陣屋を廃して、城下を見下ろす位置にある妙見山に新たに館を設け、それまで同山に鎮座していた妙見神社を山の北に移して多賀神社とし、館の北の守りをかねた城下の鎮守としました。さらに従来城下町の南側に新町を設け、山裾の西側には溜池、南から東にかけて水路をめぐらし、石垣を築きました。この当時の町の様子を描いたのが、『直方惣郭図』です。この絵図を見ると、館の麓には重臣と思われる家臣の屋敷や御作事所、お茶屋が設けられていることや、町場が城下の外延部に設けられたことなどがわかります。5万石とはいえ、小さいながらも城下町として必要な機能をきちんと備えた町であったといえるでしょう。

◇黒田官兵衛の血をつなぐ直方藩

長清は、直方を再整備しただけでなく、病弱で領地に入ることもできなかった、当時の福岡藩主宣政の代理として、福岡藩政を担った人物としても知られています。またその男子である長好(継高)は、福岡藩主の養嗣

子となります。福岡藩の6代藩主となった黒田継高は、積極的な藩政改革を行い、芸事もたしなんだ名君となりました。

福岡藩の後継者問題と藩政を救ったともいえる継高。しかしそんな彼もまた、自身の男子が相次いで死去したため、後継者問題に見舞われてしまいます。紆余曲折の末、宝暦13年(1763)に10代將軍徳川家治の従兄弟隼之助(一橋宗尹の五男)を養子に迎え、孫娘と婚約させました。実はこのとき、福岡藩と秋月藩では、藩祖黒田官兵衛の血統はすでに途絶えていました。継高は、孫娘を通じて自身に流れる官兵衛の血統をつなげようとしたのですが、孫娘の早世に伴いそれもかないませんでした。官兵衛とゆかりのある姫路の人にとっても、すこし悲しくなるお話ですね。

このように直方藩は、享保5年(1720)長清の死去とともに廃藩しましたが、福岡藩政と官兵衛の血脈をつないだ藩として、支藩の役割を十二分に果たした藩であったといえるでしょう。

◇城下町から在郷町へ

さて、直方藩廃止以降、直方は在郷町として位置づけられることとなります。直方の町人は、町から武士がいなくなったことで一時困窮することになります。しかし18世紀前半、町西部を流れる遠賀川の対岸を通過していた長崎街道を直方へと付け替えることに成功しました。その結果、直方は長崎街道の宿場である飯塚と木屋瀬の間にある「間宿」として活況を呈しました。そして明治に入り、直方を含む筑豊一帯は、石炭の産炭地として、開発がすすめられました。直方は、その筑豊の経済的・文化的中心都市としてより一層繁栄することになるのです。直方を訪れる際は、直方の旧城下に残された炭鉱時代のレトロな建物を見学するのもおすすめですよ(M)。



「直方惣郭図」(直方市教育委員会)



The News of Himeji Center for Research into Castles and Fortifications.

"Shiro Fumi" No.108